

日本人である前に 地球人であれ

——福武理事長がプレ体験留学で講演——

2011年8月15日から7日間、昨年度に引き続き海外進学を目指す岡山県の若者を対象にしたオーストラリアの総合職業専門学校(TAFE)を訪れるプレ体験留学を実施しました。

今回は主にシドニーのCrows Nest TAFE College内にある英語学校で体験学習を行い、5日目には福武総一郎理事長からの講演もありました。



「将来を君たちに託したい」と語りかける福武理事長

福武理事長講演要旨

君たちも感じていると思うが、日本の将来はむしろかしい。日本は、原料を輸入して、技術力で製品を作り輸出する加工貿易で成り立っている国で、世界との関係、コミュニケーションがないとやっていけない国だ。世界の共通語である英語は、日本語と同じくらい話せないといけない。英語のコミュニケーション力は、自分の生きる場や活躍の場を広げる。

しかし、英語を話すことは、世界で活躍するための能力や可能性を高める手段で、目的ではない。

私は、英語力と世界で働くためのスキル、更に望む人は学位も得られる教育制度を持つ国はどこだろうかと調べた。その結果、オーストラリアのTAFEに行きついた。TAFEで勉強して、サーティフィケートという証明をもらおうと、社会全体で能力を評価してもらえらる制度ができている。また、勉強に必要な英語力を身につけるために、留学生向けの英語学校もある。

留学生なら、TAFE付属英語学校で1年英語を勉強して、TAFE本科で1年学び、頑張ってディプロマという資格を取ると、大学2年に編入できる。つまり、英語力とスキルと学位を、日本の大学と同じ4年で獲得し、さらに世界に友人もできるのだ。

私は、この制度を日本の高校生に紹介し、より安心して留学できるようにサポートするシステムとしてGCAを作った。

世界を知らないと、よりよい日本を作ることができない。世界を見ないで自分の経験だけで判断しても、世界を知っている人には勝てない。いろんな国の、考え方が違う人々と接することが勉強になる。世界を知ることによって活躍の場が広がる。日本人である前に地球人であれ。

時間は誰にも平等に与えられている。時間の使い方は大切だ。計画的な時間の使い方を身につけてほしい。現代社会を勉強し、世界の流れをみる努力もしてほしい。

今、君たちには、目的を持って将来使える勉強や糧になることをやってもらいたい。そして海外で活躍することを、ぜひ将来の選択肢のなかに入れてほしい。日本人はもっと世界に出なければならない。

日本の将来を君たちに託したい。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

プレ体験留学参加者の体験記を集めた報告書が出来上がりました。必要な方は財団事務局までご連絡ください。